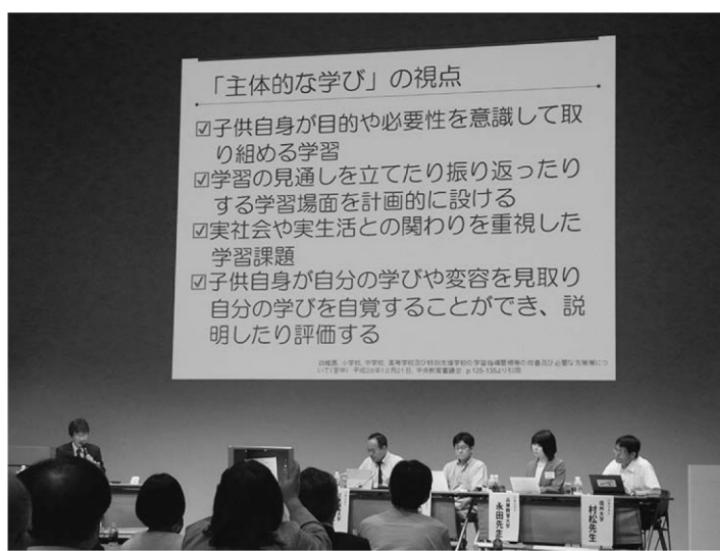


パナソニック教育財団が成果報告会



ICTの効率的活用で

ICTを活用した授業実践などを支援する(公財)パナソニック教育財団(小野元之理事長)はこのほど、第42回実践研究助成一般助成研究成果報告書優秀団体表彰と、特別研究指定校の中間成果報告会、第41回特別研究指定校の中間報告会を、東京都江東区のパナソニックセンター東京で開催した。

主体的・対話的で深い学び

一般助成校への表彰では、平成18年度第42回一般助成を受けた4校・団体の中から、最優秀の奈良県御所市立名柄小学校など、14校・団体を表彰した。

続いて特別研究指定校12校が、中間報告と成果報告をそれぞれ6校ずつ発表。茨城県古河市立上大野小学校は、研究課題「プレゼンテーション」を

実践して特別研究指定を受けた東京都文京区立第六中学校は、研究課題「教科教育における言語活動の促進と実践事例の定型化について」の成果を報告。

同校は平成25年度の新校舎移転に伴い、全普通教室に電子黒板が導入され、各教科でのICT活用が検討された。26年度にはタブレット端末に着目。電子黒板との連携と、言語活動の支援ツールとして期待が高まり、今回の研究につながった。

今後の課題は「児童のプレゼンテーション制度を設け、ランク1人に1台のタブレット端末が配備されており、プレゼンテーションを行うまでの過程で、思考力・判断力・表現力を身に付けさせ意欲向上につなげた。これは、教員の指導の目安にもなった。意欲向上につなげた。これは、教員の指導の目安にもなった。

今後の課題は「児童のプレゼンテーション制度を設け、ランク1人に1台のタブレット端末が配備されており、プレゼンテーションを行うまでの過程で、思考力・判断力・表現力を身に付けさせ意欲向上につなげた。これは、教員の指導の目安にもなった。意欲向上につなげた。これは、教員の指導の目安にもなった。

△思考力・表現力を育む手段としての言語活動に着目し、活性化させることで育てたい力を伸ばす△

△思考力・表現力を育む手段としての言語活動に着目し、活性化させることで育てたい力を伸ばす△

△問題解決に追いつめられる△説明しなければいけなくなる△ICTに馴染んでいる——がポイントになる」と指摘。吉崎静夫日本女子大学教職教育開発センター所長・教授は「日本の教育の課題は、関連付け、つながる、つなげることや、他者の立場に立って情報を発信すること。深い学びの実現は、これらの課題克服に尽きる」と結んだ。

助成校の表彰や成果報告・中間報告が行われた

一般助成校への表彰では、平成18年度第42回一般助成を受けた4校・団体の中から、最優秀の奈良県御所市立名柄小学校など、14校・団体を表彰した。

続いて特別研究指定校12校が、中間報告と成果報告をそれぞれ6校ずつ発表。茨城県古河市立上大野小学校は、研究課題「プレゼンテーション」を

実践して特別研究指定を受けた東京都文京区立第六中学校は、研究課題「教科教育における言語活動の促進と実践事例の定型化について」の成果を報告。

同校は平成25年度の新校舎移転に伴い、全普通教室に電子黒板が導入され、各教科でのICT活用が検討された。26年度にはタブレット端末に着目。電子黒板との連携と、言語活動の支援ツールとして期待が高まり、今回の研究につながった。

今後の課題は「児童のプレゼンテーション制度を設け、ラン

ク1人に1台のタブレット端末が配備されており、プレゼンテーションを行うまでの過程で、思考力・判断力・表現力を身に付けさせ意欲向上につなげた。これは、教員の指導の目安にもなった。意欲向上につなげた。これは、教員の指導の目安にもなった。

△思考力・表現力を育む手段としての言語活動に着目し、活性化させることで育てたい力を伸ばす△

△問題解決に追いつめられる△説明しなければいけなくなる△ICTに馴染んでいる——がポイントになる」と指摘。吉崎静夫日本女子大学教職教育開発センター所長・教授は「日本の教育の課題は、関連付け、つながる、つなげることや、他者の立場に立って情報を発信すること。深い学びの実現は、これらの課題克服に尽きる」と結んだ。